



平成28年度

第4回 みみらんどセミナー

☆ 実施日時 ☆ 平成28年 9月 7日(水) 13:15~14:30

☆ テーマ ☆ 「手話を使ったコミュニケーションを深めよう」

☆ 講師 ☆ 福島県立聾学校福島分校 教諭 原田久博先生

手話でコミュニケーションが深まります

★音の歪みや高音・低音の聞き取りにくさなど一生懸命聞いていても、難しさや苦勞、疲労感が出ます。そこで、得意な視覚情報の1つである手話を使って、ここを補うことができます。表情、視線、身振り、指さしなど豊かな手話を使うことでより多くの情報が保証され、コミュニケーションも深まります。

★グループ学習の場面では、友達のいろいろな考えを多く知ったり、情報をしっかり仕入れたりとすることができます。

→多様な価値観、認め合い・尊重する気持ちが育ちます。

→自分たちで物事を話して決める経験や主体性が向上したり、学習効率や効果も上がったりします。

★最近の研究では、手話を早期から導入して日本語力がついてきたとの報告があります。手話は概念を広げやすいです。手話で概念を広げ、日本語と一致させることで日本語も育ちます。手話でのコミュニケーションが高まる一方、日本語が追いつかないケースもあります。その場合は手話で広げた概念に、ていねいに日本語を確認していくことが大切です。

「手話について」

★日本語対応手話

聞こえる人が勉強して身につけた手話。日本語に対応させた手話。

★日本手話

聴覚障害者同士が使う手話。
手、表情、視線、口形や身体の動きなども一緒に使う。独自の文法。



◇参加者の皆様からの感想

「手話でいろいろな表現ができること、言葉よりも確実に伝わる可能性が高いことを知ることができて良かったです。」

「表情を加えることで幅が広がることが分かりました。自分でも取り入れられると思いました。」